

企 業 金 融

岩 村 充 教授

1. 担当教員の専門分野(研究領域)・現在の研究テーマ

企業金融は、経済学が企業活動の現実に触れることによって理論的妥当性が直接的に試されるという点で、厳しいと同時にエキサイティングな分野である。研究活動においては、理論の抽象化あるいは精緻化を追うよりも、日々動いている現実の背後にある経済合理性とは何かを考え整理することを重視している。

2. 指導方針

学生諸君の知識および問題意識を生かすことを基本にして、教員は研究活動の環境作りと問題解決の支援を行うことを基本とする。研究テーマの設定においては学生諸君の自主性を尊重するが、現実との設定を見失わないよう学生と教員の双方が努力することとしたい。

3. 学生に対する要望・その他

金融の理論を理解する基礎力を養うことも軽視はしないが、博士課程の諸君には動いている現実を読み取り本質を見抜くセンスを養うことを望む。企業活動の現場や企業金融における取引の現実あるいは契約の態様にも精通した研究者であって欲しいと思う。